

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)
下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

Zoom によるオンライン講義

参加希望者は、11月16日16時までに、下記に連絡をお願いいたします。

記

1. 講 師 瀧本 晃陽 先生
(東京都開業・米国歯内療法専門医・東京医科歯科大学歯学部臨床准教授)
2. 演 題 深在性う蝕の処置と歯髄保存療法 —歯内療法の立場から考察する—
3. 日 時 令和3年11月19日(金)15時00分 ~ 17時00分
4. 要 旨 歯髄に近接する深いう蝕に対して処置を行う機会は日常臨床においても少なくない。さらに、患者に痛みなどの自覚症状がある場合は、診断と治療方針の決定、その対応に苦慮することもある。本講演では、歯髄の診断法と臨床診断名、治療方針の決定、歯髄保存療法の分類と適応、その術式について臨床例を交えて解説を行う。また、2019年にはヨーロッパ歯内療法学会(ESE)から深在性う蝕のマネージメントに関するポジションステートメントが、本年2021年にはアメリカ歯内療法学会(AAE)から歯髄保存療法に関するポジションステートメントが、それぞれの学会から発表されており、これらの内容に関しても両者のスタンスの違いも含めて解説を行う。

総合診療歯科学分野 則武 加奈子
(連絡先 伊藤 里美 hatomi.adm@cmn.tmd.ac.jp)